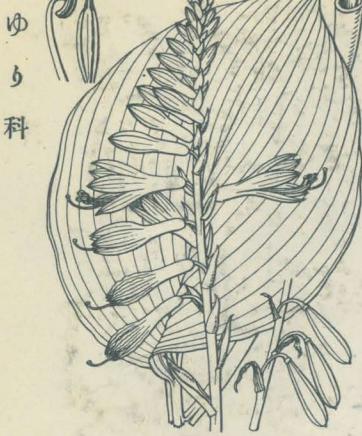


第2254圖



第2255圖



第2256圖



おほばぎばうし

一名 たうぎばうし(同名アリ)
Hosta Sieboldiana Engl.

山地ニ自生スレドモ多クハ觀賞ノ爲メ庭園ニ栽培
スル多年生草本。根莖ハ太シ。葉ハ根生簇立
シテ葉叢ヲ成シ、葉柄ハ太キ溝狀ヲ呈シ長キハ
30cmヲ超エ綠白色。葉面ハ大形ニシテ廣椭圓形
或ハ椭圓形、銳尖頭、心臟底或ハ稍柄ニ流レ、
支脈ハ縱走シテ各側十乃至十五、濃綠色滑澤、
裏面ハ淡色、或ハ往々表裏ニ白霜ヲ帶ブ。七月
頃葉心ヨリ長キ花莖ヲ抽キ、多少前方ニ倒レ、
多數ノ帶紫白色花ヲ總状ニ着ク。花下ノ苞葉ハ
卵狀椭圓形ニシテ扁平、多クハ白質化ス。花ハ長
サ4-5cm、花蓋ハ細キ漏斗狀ヲ呈シテ擴ガリ、六
裂片ハ平開スルニ至ラズ。全株ハ生育地ニヨリ
テ大小甚ダ懸絶別種ノ觀ヲ呈スルコトアリ。
山間ニテハうるぬト呼ビ嫩キ葉柄ヲ食用トス。
此一品ニきふりんたうぎばうし(forma aureo-
marginata Makino=H. glauca Stearn forma
aureo-marginata Maekawa)アリ葉綠黄色ナリ
又一品ニ丈低ク、葉鄭質、初メ白霜ヲ帶ビ後ニ暗蒼綠色
トナリ葉脈ノ間不規則ノ瘤面ヲ成ス者アリ、之レ
ヲたうぎばうし一名とくだま一名てうせんぎばうし
(var. glauca Makino=H. glauca Stearn).ト云フ。
漢名 玉簪(誤用)

いはぎばうし

Hosta longipes L. H. Bailey.

山中溪側、岩石或ハ樹幹上ニ着生スル多年生草本。根莖ハ短形、剛毛ヲ殘存ス。常
葉ハ根生、斜開、長柄アリテ其基部ニ通
暗紫ノ細點ヲ密布ス。葉面ハ椭圓形或ハ
卵圓形ニシテ長サ5-15cm、銳尖頭、圓底、
質強靱ニシテ暗綠色ノ者多ク往々光澤ア
リ、支脈ハ主脈ノ各側七乃至十箇、裏面ハ
淡色ニシテ細横脈分明ナリ。初秋ニ入リ
テ葉間始メ花莖ヲ抽クコト20-40cm。
苞ハ薄膜質ナレドモ多數相集リテ淡紅
紫色、花蓋ハ漏斗狀鐘形ニシテ長サ4cm
内外、細筒部ハ長ク、舷部六裂シ裂片ハ反
卷ス。雄蕊六本、花絲長ク花外ニ挺出ス。
蒴果ハ點頭セズ、細長ナル椭圓形ナリ。

けいびらん

Alecturus yedoensis Makino.
(=Anthericum yedoensis Maxim.)

中部以南ノ山中懸崖ニ生ズル多年生草本。根莖ハ短
形、下方ニ粗大ナル鬚根アリ。葉ハ根生、春時萌出シ、
背腹方向ニ層々相重リテ特ニ一方ニ偏向シ、厚質強靱
ノ鍾状廣線形ニシテ長サ10-30cm許、先端銳尖シ下方
ハ漸次ニ差ヤ狹ク全邊ニシテ表面ハ綠色滑澤、裏面ハ
淡綠白線數條アリ、基部ニ節線アリテ乾ケバ相離レ、
冬月ハ其葉枯死ス。雌雄別株。夏日、葉間ニ多少扁平
ナル綠色ノ長莖ヲ抽テ梢ニ疎ナル圓錐花序ヲ成シ多
數ノ細花ヲ着ケ通常葉ヨリ高ク、花被ノ分枝ハ總狀
ノ總狀花序成ス。花ハ鐘形ヲ成シ、外面ニ淡紅褐紫采
アリテ短小梗ヲ具ヘ径3mm許アリ。花蓋六片ハ同形
同大ニシテ雄花ニ在テハ長椭圓形、雌花ニ在テハ椭圓
形ヲ成ス。雄蕊ハ六本、雄花ニテハ花蓋上ニ挺出シ、雌
花ニテハ花被ニ變ジテ花蓋ト同高ナリ。子房ハ球形、
三溝ヲ有シ、花柱ハ一、直立瘦細、雌花ノ者ハ短クシテ
子房稍大、後ヲ結實シ、雄花ノ者ハ長クシテ子房小、後
ヲ萎縮ス。蒴果ハ小球形、三室ニ開裂シ、種子ニハ種髪
アリ。和名雞尾蘭ハ其葉狀雄雞ノ尾ノ如ケレバテ。

ききやうらん

Dianella ensifolia Red.

四國九州ノ海邊ニ生ズル常綠多年生草本。高サ50-100cm。根莖ハ太クシテ地フ。長
纏葉鞘ヲ出デ、廣線形ニシテ質強リ、葉テ強烈狹
挺シ、中邊二三ノ線形葉ヲ伴ヒ、梢部ハ圓錐樣ニ復總状花序ヲ成シテ疏ニ桔梗色ノ
花ヲ開ク。花蓋六片ハ平開シ、長サ6mm許、
狭長椭圓形ニ成ス。雄蕊六箇ハ花蓋片ヨリ短ク、
花絲ハ上半太ク且ツ膝曲ス。漿果ハ長椭圓形、多少三耳ヲ成シ碧紫色ヲ呈シ、
徑1cm内外、中ニ少數ノ黒色種子アリ。
和名 桔梗蘭ハ花色ニ基づク。

第2257圖



をりづるらん

Chlorophytum comosum Baker.

阿弗利加ノ原產ニシテ觀賞ノ爲メ栽培ス
ル常綠多年生草本。葉間ヨリ發出シ、
多クハ分岐シ、先端ト新株ト成ル。
更ニ根ヲ出ダシテ一新株ト成ル。
鱗形葉ヲ散着互生ス。葉ハ根生葉及
幅生、廣線形ニシテ長ク尖リ長サ10-30
cm、質強靱ニシテ綠色、通常白花ニ混
ズ。六七月頃ニ至リテ枝條ノ葉腋ニ三
花花序ヲ生ずテ各片葉ニ二三花白花
ヲ開ク。花ハ徑15mm。花蓋六片ハ平開
シテ花梗ハ倒比短ツ集リ、或ハ枝端ノ葉
叢中花梗ハ各片葉ニ混じテ花柱ハ各片葉
ノ長さニ等シテ花蓋ハハニリ。花蓋六箇
ハ花柱及花絲共一箇、花蓋ハ花柱ハ各
片葉ニ等長シテ花蓋ハハニリ。花蓋一箇
シテ小形ナリ。雄蕊六箇、花柱ハ花蓋ハ
シク絲狀ヲ成ス。雌蕊一箇、花柱ハ花蓋
ハ三耳ヲ成リ扁球形、基部ニ花蓋残存ス。
和名ハ折鶴蘭ノ意ニシテ、其草姿ニ基
シテ名シナリ。

第2258圖



はなすげ(知母)

Anemarrhena asphodeloides Bunge.

滿洲・北支那ニ自生スレドモ、往昔藥用ノ爲メ
我邦ニ入り今猶往々栽培セラル多年生草本。
根莖ハ短形、稍塊狀ヲ呈シテ横走ス。葉ハ皆根
生、簇出シ、長サ20-70cm、廣線形ニシテ
楕圓形ノ葉叢ニ向テ次第ニ細ク遂ニ絲狀ト成リ、
底部ハ五ニ包メドモ鞘ヲ成サズ。質稍硬クシテ表
面ハ四ミテ淡綠白色無澤、裏面ハ綠色光澤アリ
テ毛無シ。夏日葉間ニ高ク長莖ヲ抽キテ直立ス
ルコト60-90cmニ達シ、莖上ニ卵形ニシテ尾狀
ニ尖レル苞葉ヲ散着シ、上部ハ花叢ヲ長穗様ニ
着ク。花叢ハ二三花ヨリ成リ、花ハ狹筒狀ヲ成
シ、長サ7-8mm、白質淡紫條アリテ線形ノ裂片
ニ六深裂スレド正開セズ。雄蕊ハ三箇、小形ニ
シテ花蓋内片ノ中央ニ着生ス。蒴果ハ12mm許、
長椭圓形ニシテ兩端長ク尖リ、三室、各室ニ黑
キ三翼アル種子夫々一箇ヲ容ル。根莖ヲ藥用ニ
供ス。

第2259圖

